

シアトル別院時報

32巻7月号

2013年度教化標語
眞実明に帰命せよ



唯仏の智見

新井俊一師

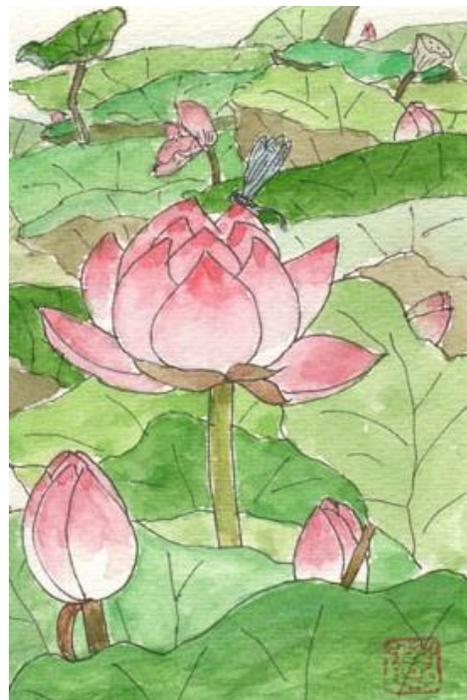
(以下の文は『慈光』誌(1949年7月号)に掲載された近角常観師(1870-1941)の講義録「唯仏の智見」を新井が要約したものです。)

阿弥陀仏の広大な浄土はしばしば大海や虚空に喩えられます。仏身も無限であり、その顔容は人天の遠く及ぶところでない、と言われていいます。

一方、私たちは数え切れない壁や制限の中で住んでいます。家族問題、経済問題、隣人や友人との関係、異性との関係などで、様々な問題や挫折を経験します。他人のためと思ってしたこと壁に突き当たり、他人を恨んだり、世を恨んだり、終いには自分を恨んだりします。

私たちは、自分の住むこの世界よりもずっと広大な世界に出遇わない限り、こういった苦しみから自由になることはできません。それは仏様の慈悲の働きによって可能になります。仏様は私たちをこのような惨めな状態から救うために本願を建ててくださいました。しかし、慈悲の働きをいろいろ考えて信じなければならぬ、と言うわけではありません。少なくともそれは仏教の信仰には含まれない要素です。

大切なことは仏の慈悲の働きに目覚めることです。これについて親鸞は「弥陀五劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとえに親鸞一人がためなりけり。さればそくばくの業をもちける身にありけるを助けんと思し召し立ちける本願のかたぢけなさよ」(『歎異抄・後序』)といい、また「親鸞におきては、ただ念仏して弥陀にたすけられまゐらすべ



7月の予定

- 4日 事務所休み
- 7日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 8-11日 15-16日 盆踊り練習
7時半-9時
- 13日 14日 お盆墓地法要
詳細は2ページ
- 18日 19日 6時半 お盆ブース工事
- 20日 21日 盆踊り 詳細は2ページ
日曜法要なし
- 26-28日 NWYBLリトリート
- 28日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 18日 1時半 日系マナー法要
- 23日 10時半 敬老ホーム法要

しと、よき人の仰せを蒙りて信ずる外に別の仔細なきなり。念仏はまことに浄土に生まるる種にてやはんべるらん、また地獄に落つべき業にてやはんべらん総じてもて存知せざるなり」とも言っています。親鸞の言おうとしていることは、戒もたもてず、行もできない自分のような愚か者が、よき人法然聖人のお導きで仏の広大な世界に入ることができたのだ。私は念仏で救われたのだから、あなたもできるだけ早く念仏に帰依しなさい」と言うことです。

私、近角、も言うのです「私も念仏、南無阿弥陀仏、で救われました。あなたも念仏をして、仏の世界にはいりなさい」と。今朝、ある人が私に「どうも感激がないでいかぬ。こんなことではいかぬ」と言いました。私はその人に「君それは芝居というもんだ。親はかくかくしんぱいしているのであるから有り難く思わにやいかぬと思うているようなもんで、変なものである。それは君の法でかってに親心を想像しているのであって、親は喜びも安心もなされはせぬ」と言いました。親がせっかく言うてくださるからには、こちら少しはどうかよくせにやと幾分でもこちらから出すつもりでいる間は、まだ本当に親心が分かっていないのである。

それでは感激はなくてもよいかと言えば、なくてもよいどころの騒ぎではない。それを気の毒に思っていてくださるのである。そういう私たちを仏はかねてご存じで、そういう私たちに大慈悲を持ってくださるのである。

そこでまたその人は、「そう言うてくださるからには、少しは感激もありそうなものに！」とおっしゃるかも知れぬが、「何を言う。君のそんな甲斐性があるなら、何もあわれではない。その落ちるより道のない汝の心根が哀れであるから、この親は永劫見捨てぬのであるぞ！！」と呼びたまうのである。

私たちはいつも自分中心で、善いだ、悪いだ、とばかり言い合っていて、親のご恩は沙汰なくしているのである。我々は払いきれぬ借金をこしらえながら、ああこうと、自分勝手ばかりしていて、親のご苦勞は何とも思っておらぬ。まこと人生、ああこのこうのと言っているが、仏は大覚の境地にあって、種々善行方便して、迷える我らを導いていてくださってお休みになる時はないのである。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士(ハワイ大学)、浄土真宗本願寺派教師。

2013 年お盆行事予定

シアトル・盆踊り

7月20日 4時—10時

7月21日 3時—8時

7月8—11日 15—16日 7時半—9時 踊り練習

7月18・19日 6時半よりブースの工事

お盆では多くのお手伝いが必要ですサイン・アップして下さい。

白河仏教会・盆おどり 7月27日(土) 4時—9時半

タコマ仏教会・盆おどり 8月3日(土) 5時—9時



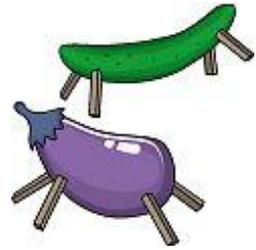
墓地法要

7月13日(土) 12時 マウント・プレザント(クイーン・アン)

1時 ワシントン・メモリアル(シー・タック)

3時半 レーク・ビュー(キャピタル・ヒル)

7月14日(日) 10時 お盆・初盆法要—別院にて
1時 エバグリーン・ワシヤリ(ノース・ゲート)
3時 サンセット・ヒル(ベルビュー)



今秋の予定

10月5日・6日 梅津廣道総長の訪問
10月19日 第二回 別院女性のセミナー
テーマ「利他の心」

お盆写真展示

お盆の二世軍人の写真展示のために別院会員でアメリカ軍で務めた方の軍服姿の写真をさがしております。また議会名誉黄金勲章を授与された方々の写真も提供されたいと願っている。写真をお持ちの方は別院事務所まで連絡して下さい。市川サット

別院日本語プログラム

松林輪番がリタイアされた2010年よりシアトル別院では日本語の先生がおられませんが、星野アランさんが日本語プログラムを毎週用意して下さっています。毎週いろんな先生のお説教を拝聴出来るなんてなんと贅沢なことでしょう。日本語メンバーは大変感謝しています。バークレイJSCの桑原先生、ガーディナ仏教会の宮地信雄師もビデオを送って下さいます。英語法要の後9時45分くらいから始まります、みなさん是非ご参加下さい。

会員部より

別院維持会会員の年度会費は70才以上は\$250(\$500ご夫妻)、70才以下は\$300(\$600ご夫妻)です。これは別院の維持に対しての最低額になります。分割でも払えます、事務所までお申し出下さい。今年分の会費をお支払いになった方のお名前が英語文にあります。

シアトル別院会費について

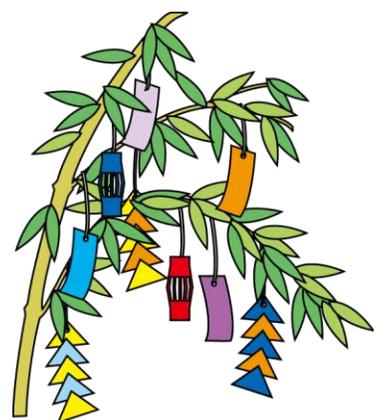
2013年度も半分が過ぎました。会費を納められた方々には感謝します。税金免除になる年会費は別院にとって諸経費を賄い、仏教教育をよりよくしていく為にも必要です。ですが、会費とファンド・レイズのお手伝いだけではその諸経費をもカバーしきれません。別院会費はほかの2団体の会費も含まれます、BCA、北米地区です。300ドルのうち200ドル以下が(70歳以上の方は150ドル以下)が別院に残された額です。分割で払われても結構ですが9月30日までに最後の払い込みをして下さい。皆様のご理解とご支援のもとに別院が活動でき、将来があるのです。

婦人会便り

会長のメッセージ 馬場ジャネット

皆様には夏を楽しみ、又お盆のシーズンを楽しみにお待ちの事でしょう。

オリオン・デナー:5月17日バートみちの先頭で富田—加藤ナイナ、島田シャーリー、柴田デニス、と寺田マイク方が、焼きチキン、ささげ、グレービーのかかったポテト、野菜サラダ、パン、スイカ、と牛乳の夕食を約30名の青少年に接待しました。次回のお手伝いに興味のある方は、事務所を通して連絡して下さい。



クラフトクラス:5月8日にお盆踊りの際のセールのために、出口メイが綺麗な明るいハワイアンプリントの生地を使用して、マイクロウェーブ パットホルダー制作のクラスを、そして5月22日には田中リク子がお茶袋星のカード制作のクラスを持ちました。お盆のクラフトブースにてこれらの作品をお求め下さい。

お盆踊りのお手伝いの要請:7月20-21日のお盆踊りには婦人会は焼きそばとバラ寿司の担当です。別院階下の署名紙にお手伝い出来るシフトを署名して下さい。後に会員にて作られたクラフト作品もブースにて売られます。

夏季日帰り旅行:活動部は8月にコーチバスとフェリーにて、ベーンブリッジ島博物館とベーンブリッジ記念館を訪れる、昼食を含む、旅行を計画中です。

詳細は後ほど。イーメール/電話にて情報が、又後に署名紙が事務所の向かいに可能になります。更なる情報は事務所の中野ジョンに連絡して下さい。

エイジング・ワークショップ:「人生の最後の準備について家族と話す」について、清水チヨとワング エドがメデケアと経済問題に関して夫々お話しをしました。メデケアに変化があるので、再び、秋にワークショップの予定。

白河仏教会婦人会百年祭:2013年9月28日、午前11時半-3時半、スタックトン仏教会の本好由紀子師をご講師としてお迎えして、レントンの Fairwood Golf and Country Club にて営まれる婦人会の百周年のお祝いに、当婦人会は招待状を受領しました。チケットは、30ドルです。情報は事務所の向かいの婦人会のブレンボードに、又は事務所の中野ジョンにお尋ね下さい。

合掌

婦人会寄附:英語欄を参照して下さい。

7月行事予定

14 (日) 別院お盆/初盆法要
20-21(土、日)お盆踊り

通信書記(日)新保エツ提出



Rev. Castro, Ed Wong and Cho Shimizu at the Aging Workshop



Sets, Judith and Darlene sorting fabric for class

